【授業科目】特別研究Ⅱ（産業看護学）　Master's ThesisⅡ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
後藤 由紀、柴田 英治、大谷 喜美江	２年次 前　期	選　択	３	９０	演　習	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	特別研究Ⅰで明確にした研究課題に対する研究方法を選定し、研究計画書を作成する。 研究計画書については時間内に複数回の発表を行い、出席者の批判を仰ぐものとする。 研究計画書の作成過程では、当然に倫理的問題も検討しなければならない。さまざまな基準から、倫理的問題についても対処できるものを作成する。授業は実務家教員（後藤、柴田、大谷）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法/スーパーバイズを適宜実施する。討議やプレゼンテーションを通してコメントを行う。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシーの①③④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	１．研究課題を解明するため適切な研究方法を選択できる。 ２．倫理的配慮を含めて研究課題に即した研究計画書を作成できる。 ３．倫理委員会申請に必要な書類を作成し、所定の手続きを実施することができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	研究テーマに関連する国内外の文献を幅広く検索し、文献検討を行い研究計画書の作成に臨む（5～8 時間）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／１回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	1～15　研究方法の検討 １）探究したい現象についての研究での倫理的配慮の検討 ２）探究したい現象の具体的なデータ収集方法の検討 （質問項目作成、インタビューガイド作成などのプレテスト） 16～35　研究計画書の作成 １）研究課題・研究背景（先行研究・文献検討、研究枠組み　等） ２）研究の目的・意義 ３）研究方法/研究デザイン・データ収集の方法・期間・データ分析の方法 （アンケート、インタビューガイド作成　等の作成も含む） ４）安全性の確保（予想される有害現象と対策）人権・プライバシー保護に関する配慮 ５）研究依頼に関する検討 （研究協力者・施設長への依頼文書の作成等も含む） 36～45　倫理審査委員会提出書類の作成・申請手続き（機関・施設の基準に準拠する）
全て 後藤 柴田 大谷	
評価方法 評価基準	演習における積極性および課題取り組み状況などを踏まえ、研究計画書を総合評価する。
教科書	適宜紹介する。
参考書等	適宜紹介する。